



認定こども園かおり幼稚園

2024年2月20日

「一人一人を大切にしている神様」

幼稚園玄関に頂いた7段飾りのお雛様を飾りました。「なんか、顔が変わっている」「オルゴールはどこへ行ったの?」「もっと背が高くなかった?」「このセットはなかったよね」「お花が変わっていると思う」などと言っている声が聞こえてきました。昨年まで活躍していた年代物のひな人形と変わったことに多くの園児がすぐに気が付いていました。何気なく置いているものでも子どもたちは鋭く観察して記憶していたようです。私ですら50年以上も前の幼少期に使っていたおもちゃの中には細部まで記憶しているものがあるのです。ましてや柔らかい頭でスポンジのように吸収している子どもたちです。記憶に残っているということは心の目でしっかり見たということでしょう。

子どもたちがしっかり記憶をするということ、大人はきちんと意識をすることがとても大切だと思います。

先日、排泄を終えたひよこ組が廊下で並んで待っていた時です。通りかかった年中組や年長組の子どもたちを引き留めて「この人の名前は何でしょうクイズ」をしました。すると、一緒のバスに乗車しているひよこ組のお友達がきちんと名前を憶えていて答えてくれました。乗車する前、乗車後と何度もお名前を呼んで確認作業をするので自然に覚えたようです。まだお名前を知らないお友達にも「このおねえさんはNちゃんといいます。」と紹介をしました。その後にNちゃんがそっと「私を名前で紹介してくれてありがとう」とお礼を言ってきました。そんな些細なことでお礼を言われるとは思っていなかった私は、Nちゃんの素晴らしい感性に感動しました。

少人数の幼稚園ではありますが、その中でも互いの名前も知らずに関わる機会もなく過ぎてしまうことがあります。一人一人が違う名前のある、神様と人から愛されている大切な人である。「名前を丁寧に呼ぶ」ことを通してこの事を子どもたちは実感しているのだと改めて思えた出来事でした。

子どもたちの成長を伸びた背や、きつくなってきた上靴、話す言葉や態度、自分でできるようになった身支度、友達と折り合いをつけながら遊ぶ姿などいろいろなところから感じます。子どもたちはこの1年で心も体も大きく成長しました。その土台には神様と多くの人々の愛があるからです。愛情をたっぷり受けて育った子どもは、土台がしっかりしているのでちょっとやそとでは倒れません。必ず、前を向く力がその内側にしっかりとあります。園での生活を通して子どもたちに自分の目でよく見て、自分の耳でよく聞いて、自分の頭でよく考えることを大切にしていました。お友達の考えにも耳を傾けることで子どもたちは、自分の中に一人では得られない色々な経験を積み重ねて人間の幅を広げています。それらが、確実な力となって次へのステップへと導いてくれることを願っています。「♪ありがとうイエス様～」との歌声を聞きながら、神様が一人一人に違った賜物をくださっていることをしみじみと感じる3学期です。

園長 加藤 真希子



2023年度主題	ともにつぎだす～希望の中で～
2023年度 主題聖句	キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。 エフェソの信徒への手紙 2章17節
3月の主題	0.1.2歳児 おおきくなったね
3月の聖句	主よ、あなたの道をお教えてください。 詩編 86 篇11節

おたんじょうびおめでとう

3月生まれのおともだち

2日 いまほり えいた (ふたば)
10日 うえの にいな (わかば)
11日 かいづ いとは (ふたば)

お誕生会は3月15日(金)に行います



3月27日(水)に下記の物を持ち帰ります

*祝い菓子

*メモリアルカード

*USBメモリー

(1年間の写真 15~20枚程度)



3月の予定

1日(金) ひなまつり 15日(金) 誕生会
27日(水) 進級お祝い会

2024年度 入園式

4月10日(水) 10:00~11:00 予定
わかば組の保護者の方はご予約ください。
幼稚園ホールで行います。

*4月1日から5日の1号春休みの間は
わかば組は2号「どんぐり組」で過ごします

進級に向けて

進級お祝い会について

0.1.2歳児が集まって、1年間神様に守られて大きく成長したことを感謝し、大きくなったことを一緒に喜びたいと思います。みんなで歌を歌ったり、出し物を見たり、記念の品を頂いたり、楽しく過ごします。



* 子ども達の様子 *

つぼみ組はふたば組と一緒に給食やおやつを食べる機会をつくり、進級に向けて椅子や環境に慣れるようにしています。一つ上の小さなお兄さんお姉さんに刺激を受けて、自分で食べようとしていたり、手すりなしの椅子に座って体幹もしっかりしてきています。先生やお友達を呼んだり、てつだつて、かして、いらない、おは「よー」等、一所懸命言葉で伝える姿が増えています。

ふたば組はお友達同士の関わりが増え、休んでいるお友達や先生のことを気にかけて聞いたり、泣いているお友達がいると、ティッシュを持ってきて涙を拭いたり優しい姿が見られています。歌や踊りが好きで、参観でも踊った忍者の踊りは何度も繰り返し楽しんでいました。つぼみ組と食事や、排泄をし、一緒に遊ぶ中で、自分で「やってみよう」と頑張ったり、お兄さんお姉さんの意識が育っています。

わかば組は衣服の着脱が上手になり、避難訓練の時等も自分で靴下やジャンパーを着るのが早くなりました。公園へ「ソリ滑り」に行き、初めは怖がっていた子もいました。先生やお友達と一緒に滑っているうちに楽しさが分かり何度も楽しんでいました。給食は年少さんと同じプレートのお皿になりました。大きくなった喜びで野菜の嫌いな子も自分で一口頑張ろうとしている姿が見られ成長を感じます。